

報 告

矯正管区との共同研究

藤原 正
奥村 晋
高塩 武治

全国の各矯正管区では、毎年、管区が指定した研究課題及び管内矯正施設から提供された自由研究課題の発表の場として、矯正教育等に関する研究会を開催しているが、これらの研究課題の中には、中央研究所が採り上げている研究課題と密接な関係を持つものが散見され、これらの課題について、各矯正管区と中央研究所が共同して研究を実施することによって、よりよい成果が期待できるものと考え、矯正管区との共同研究を発足させたのである。

各矯正管区の職務研究の歴史は古く、その結果を発表した研究機関誌の戦後創刊は次の通りである。（佐藤晴夫「戦後における犯罪学の歩み」中央研究所報第一号より）

昭 21 年	福岡行刑管区本部	「九州行刑」
昭 25 年	大阪矯正保護管区	「矯正教育」
昭 27 年	高松矯正管区	「四国矯正科学」
昭 28 年	東京矯正管区	「矯正研究資料」
昭 30 年	東北矯正科学研究所	「東北矯正科学研究所紀要」
昭 32 年	中国矯正職務研究会	「矯正広島」
昭 33 年	名古屋矯正管区	「矯正職務研究」
昭 38 年	北海道矯正実務研究会	「北海道矯正」

また、平成元年度、全国の各矯正管区で実施された、研究発表大会の名称及び回数は、次のようになっている。

「東京矯正科学研究会」	第 22 回
大阪矯正管区文化会「矯正教育研究会」	第 38 回
名古屋矯正管区「矯正実務研究発表会」	第 26 回
広島矯正管区「管内職員矯正研究会」	第 24 回
「九州矯正研究会」	平成元年度
「東北矯正研究会」	第 25 回
「北海道矯正実務研究大会」	第 19 回
「四国矯正研究会」	第 44 回

これを見て、まず第一に感ずることは、どこの研究会も歴史が古く、かつ、毎年のように発表会が持たれてきたということである。

この中で、九州矯正研究会だけが、回数でなく年度で呼称しているが、「九州行刑」の創刊が一番古いことから考えても、様々な変遷を経てこのようになったものと推察される。

多忙な勤務の合間を縫って、毎年のように各施設から研究発表が提出されるということは、矯正職員が、常によりよい処遇を念願し、創意工夫を怠らない証左であり感銘深いものがある。

前記の各矯正管区研究誌名が区々であることからわかる通り、管区単位の研究は独自性をもって研究を深めてきたが、反面研究を全国規模に拡大することに欠ける憾みがあった。本来管区単位での研究を目途したものであるため止むを得ないことではあろうが、貴重な研究を管区単位にとどめてしまうのは大きな損失である。

当研究所は、この点を補完し研究の拡大充実に役立つことを念じて発足当初から次の試みを行ったのである。

その1は、各管区研究誌に発表された研究発表を全国的にそれぞれ創刊号まで遡っての文献目録の作成である。

これについては、「中央研究所報」第一号の、「文献目録の作成」の欄には次のように記述されている。

「刑事政策に関する研究はこれまで多種多様で、その研究成果は膨大な数に達している。これらの研究論文の目録は、各大学、図書館、研究機関や関係学会において、それぞれ作成されているものの、それらの研究が、データ・ベースとして多くの研究者に利用されているとはいえない。そこで、広く刑事政策にかかる文献目録について、データ・ベースとして利用し得るような、体制を整えるよう目下その準備に努めている。その手始めの事業として、これまで目録の作成されていなかった、全国矯正管区での研究発表論文を中心に文献目録の作成にとりかかることとした。」

その2は、各管区単位での研究を他の管区の研究と協調しながら行うことへの仲立ちである。

各矯正管区がそれぞれ独自性を発揮して、研究内容の向上に努めてきたことは、さきに述べたとおりであるが、北は北海道から南は九州にわたる広い地域にわたって、各矯正管区が他の管区とは関係なく研究課題が設定されてきたため、他の地域で同種の研究が進められていても、意外と気付かないことがあり得るということでもある。

この懸念を解消するために、当研究所では、「矯正管区との共同研究」という研究課題を設定し、同種内容の研究を進めようとする複数管区が、相互に連絡をとりながら研究を深められるよう各管区間の仲立ちを行い、複数管区にわたる調査結果の集計・分析にも当研究所が役割を果たしたいとするものである。

次に昨年度及び今年度における矯正管区との共同研究の実施について具体的に説明しよう。

1 平成元年度においては、各矯正管区から提出された研究課題の中から、研究内容において当所の研究方向と合致すると思われるものを選んで、各矯正管区と協議の上、共同研究の課題として選定した。

研究課題及び担当施設は、次のとおりである。

東京矯正管区	再入少年に対する指導のあり方
	担当施設 久里浜少年院 小田原少年院
大阪矯正管区	再入少年の意識調査
	担当施設 和歌山少年鑑別所
名古屋矯正管区	覚醒剤等薬物事犯者に対する指導について

	担当施設	名古屋刑務所 瀬戸少年院
広島矯正管区	交通事犯者の特性に関する研究	
	担当施設	尾道刑務支所
福岡矯正管区	交通安全教育の充実方策について	
	担当施設	佐世保少年院
仙台矯正管区	被収容者の更生に関する意識	
	担当施設	管内全施設
札幌矯正管区	余暇時間の活動について	
	担当施設	管内全行刑施設
高松矯正管区	余暇時間の活用について	
	担当施設	管内全行刑施設

管区との共同研究は、当研究所においても初めての試みであると同時に、各矯正管区においても初めての経験であるので、管区の関係職員が研究所との具体的な連携方法について、さだめし危惧することが多いであろうことと、研究担当施設においては、その研究成果が共同研究として評価に値するかどうかを懸念する向きもあろうかと思ひ、当研究所において、「矯正管区との共同研究実施要領」を作成し、各矯正管区長を通して、研究実施担当施設へも連絡した。（その実施要領の内容は、「中央研究所報」第一号に掲載されている。）

なお、平成元年度全国の各矯正管区で実施された研究発表大会に対して、中央研究所側から、共同研究担当職員が参加し、共同研究の在り方や研究結果報告のまとめ方などについて、各矯正管区の担当職員や各研究担当施設の職員との間で直接協議を行ったが、このことは、当初矯正管区との共同研究の進め方について、暗中模索であった両者にとって、大変有意義なものであったと思料される。

また、平成元年度末、矯正管区との共同研究が終了した段階において、共同研究の在り方について、各管区から大変積極的な意見が寄せられた。（「中央研究所報」第二号の研究所だよりの項参照）

2 平成2年度の「矯正管区との共同研究」は、平成元年度と同じような方法によって実施されたが、共同研究課題の選定については、前年度と同様、各矯正管区から提出される指定研究課題及び自由研究課題の中から適当な課題を、各矯正管区と中央研究所が協議して決めるという点は変わらなかった。

しかし、本年度は、新たに、次のような方法により、共同研究課題を選定しようとした点において、前年度と違ったものがあるといえる。

それは、前年度の「矯正管区との共同研究」の研究課題の中から、前年度実施した管区以外の管区にいおいても、比較研究することに意義があるものを中央研究所が選択し、他の管区に紹介して、それを研究課題として採り上げた場合に、その管区との共同研究課題として決定するという方法である。

それは、昨年度に仙台矯正管区において行われた「被収容者の更生に関する意識」についての研究成果は、仙台矯正管内の施設だけでなく、全国各地の矯正施設での結果と比較検討することにより、矯正処遇上有用な資料が得られると思われたからである。

当研究所の提案に賛同され仙台矯正管区と同様の「被収容者の更生に関する意識」調査を平成2年度に実施することにしたとの連絡をいただいた矯正管区は、名古屋矯正管区、広島矯正管区、札幌矯正管区及び高松矯正管区の4管区である。

なお、仙台矯正管区は、昨年度当該調査を手がけており、その調査項目及びデータの統計処理については実績があり、本年度他管区から提供される資料との比較分析についても大いに関心があると思われるので、「被収容者の更生に関する意識に対する追調査」と題して、昨年度に引き続き当該調査を行ってもらうことになった。

これによって、共同研究課題「被収容者の更生に関する意識」調査については、名古屋、広島、仙台、札幌、高松の各地域におけるデータが収集されることとなり、広域にわたる資料の比較分析に着手できるめどがついたのである。

また、当該調査に使用するマークシート及び調査票は、当研究所が作成し、調査結果のコンピュータによる集計業務についても、各管区ごとの状況に応じて、当研究所の研究スタッフによる応援体制が整えられることになり、ここに、共同研究に対する本来的な態勢をつくることができた。(本年度から矯正管区との共同研究に対して法務省矯正局の御配慮により財団法人矯正福祉会からの援助が得られることとなった。ここに謝意を表したい。)

具体的な調査方法については、次の通りである。

(1) 中央研究所が分担する業務

- ア 調査票の原稿作成
- イ 調査票の印刷
- ウ マークシートのプログラム作成
- エ マークシートの印刷
- オ 調査実施要領の作成
- カ 調査担当管区の調査票及びマークシートの必要枚数調査
- キ 調査票・マークシート・調査実施要領の調査担当管区に対する発送
- ク 調査担当管区との連絡・調整

昨年度、仙台矯正管区が実施した調査方法は、調査票により調査を行い、その調査結果をコンピュータによりデータ処理したのであるが、今回は、調査票の内容をマークシートの中に盛り込み、調査票の記入段階において、マークシートにより質問の回答をチェックすることとした。

最終的に、マークシートの数は、成人用A・Bの2枚と少年用A・B・Cの3枚の計5枚となり、これに対応する調査票は、別掲のとおり、「成人用アンケート調査票」、「少年用アンケートちょうさひょう」としてまとめられたのである。

(2) 次に調査実施上の注意事項として、調査を実際に担当する職員に対する「調査実施要領」を作成し、各矯正管区へ配布したが参考になると思われるので、その主なものを列挙しておきたい。

ア 「調査実施時の教示」から

(ア) この調査は、全国各地の刑務所、少年院、少年鑑別所で行われています。調査対象とならない人もいますが、名簿でたまたまあなたが選ばただけで、とくに理由はありません。

この目的は、矯正施設に入っている人々が自分の更生についてどう考えているかを調査して、みなさんが更正する手助けとなる資料を作るためです。

(イ) 結果はコンピュータで処理されますので、個人の回答がそのまま公表されたり、当所

(院)の成績、進級など(懲罰、懲戒、仮釈放、仮退院、審判など施設の適当なものに置き換える)とは全く関係ありません。安心して自分の考えたこと、感じたことをありのまま正直に書いて下さい。ただし、更生のための大切な資料となりますので、いい加減にはやらないで下さい。

また、答えに正しい、間違っているということはありません。

(ウ) 時間はだいたい30分から40分程度かかります。

質問紙は質問の書いてある冊子とカード数枚になります。手元に冊子とカード(成人は2枚・少年は3枚)が揃っていることを確認して下さい。特にカードについては枚数だけでなく、ちゃんと2種類(少年は3種類)あるかどうかを確かめて下さい。

(エ) それぞれの質問について、特別の指示がないときは、あてはまる答えを一つ選んで、その番号を□の中に記入し、カードの答欄にも線を引いて下さい。

質問の分量は多いですが、特に指示されているところを除いて、全部の質問に答えて下さい。

(オ) 筆記用具はHBまたはBの鉛筆を使って下さい。

書きまちがえたら消しゴムできれいに消して下さい。

消しゴムのカスはきれいに取って下さい。

(カ) カードは汚したり折り曲げたりしないで下さい。

不明の点があったらその場で手を挙げて下さい。

ただし、自分の考えを大切にもらうため、質問文の内容は自分で考えて下さい。

(キ) 開始直後に巡回をし、カードのマークの仕方を特にチェックし、最初に引かれた悪いマークの引き方はその人のくせになりやすいので、重点的に行って下さい。

またマークの位置のずれにも気をつけてあげてください。

イ [想定される質問と回答例] から

質問及び質問箇所

回 答 例

(ア) 記憶があいまいでわからない
成人用F3(事件名), F6(刑期)
少年用F5(事件名),

できるだけ思い出さない
空欄にはしないように

(イ) いくつかあって1つを選べない
成人用F11(入所直前の職業)

最も重要なものを1つ選びなさい

(ウ) 旧制中学校はどこに含まれるか
成人用F10(学歴)

旧制は次のように置き換える
尋常小学校 → 小学校
高等小学校 → 中学校
旧制中学校 → 高等学校
旧制高校以上 → 大学

(エ) もっているものが資格・技能にあてはまるかどうかわからない
成人用F13(仕事に役立つ資格等)

思い当たるものはすべて書きなさい

- 少年用F10（同）
- (オ) 自分では反社会集団とは思っていない
成人用F16（反社会集団）
- 一般にそういわれていれば該当するので書きなさい
- (カ) 入っているのはどの程度か
少年用F18（反社会集団）
- 構成員に限る 事務所への出入りなどの程度は含まない
- (キ) 保護者は実父と祖母がいるが、どれを選ぶか
少年用F12（保護者）
- まず父と母だけを見るので、「実父だけ」を選びなさい
- (ク) 漢字が読めない
（特に事件名）
- 個別に教える
質問が多発する場合は全体を通して音読する

以上の研究調査の結果については、平成3年度発行される中央研究所紀要に発表される予定である。

なお、参考までに「アンケート調査票」（成人用）Ⅰ、Ⅱ及び「アンケートちょうさひょう」（少年用）Ⅰ、Ⅱを次葉以下に掲載する。

アンケート調査票 I
(成人用)

矯正管区・中央研究所
共同研究

(この部分は記入しないでください。)

ケース番号	T 1

この調査の結果はすべてコンピュータにより機械的に処理します。回答をそのまま公表したり、記入の内容によりあなたに不利になることはありません。ありのままに回答してください。

1 それぞれの質問について、特別の指示がないときは、あてはまる回答の一つえらんで、その番号を□の中に記入し、カードの回答欄にも線をひいてください。

2 カードの線の引き方は下のようになっています。

良い → [—]

悪い → [m] [○] [✓] [←] [↗]

3 () の中には、具体的な内容や理由などを記入してください。

カードには答の番号に線を引くだけでいいです。

F 1 あなたの性別は、

(カードの方も忘れずに書いてください。)

1. 男 2. 女

F 2 あなたの現在の年齢はどれにあたりますか。下から一つえらんでください。

- 1 25歳未満 2 25～29歳 3 30～34歳
4 35～39歳 5 40～44歳 6 45～49歳
7 50～59歳 8 60歳以上

F 3 あなたが判決で言い渡された刑期はどれにあたりますか。下から一つ選んでください。(2刑以上もっている人は、合計してください)

- 1 6月未満 2 6月～1年未満
3 1年以上2年未満 4 2年以上～3年未満
5 3年以上～4年未満 6 4年以上～5年未満
7 5年以上～8年未満 8 8年以上～10年未満
9 10年以上～15年未満 10 15年以上～20年未満
11 20年以上 12 無期
13 その他 ()

F 4 あなたは入所してどのくらい経っていますか。下から一つ選んでください。

- 1 3月未満 2 3月以上～6月未満
3 6月以上～1年未満 4 1年以上～2年未満
5 2年以上～3年未満 6 3年以上～5年未満
7 5年以上～10年未満 8 10年以上～15年未満

9 15年以上～20年未満 10 20年以上

11 その他 ()

F 5 あなたの刑期はあとどのくらい残っていますか。下から一つ選んでください。

1 3月未満 2 3月以上～6月未満

3 6月以上1年未満 4 1年以上～2年未満

5 2年以上～3年未満 6 3年以上～5年未満

7 5年以上～10年未満 8 10年以上～15年未満

9 15年以上～20年未満 10 20年以上

11 その他 ()

F 6 今回入所したのはどの事件ですか。下から主なものを一つ選んでください。

1 窃盗 2 詐欺 3 横領 4 背任

5 赃物関係 6 殺人 7 強盗・同致傷

8 強盗強姦・同致死 9 暴行 10 傷害・同致死

11強迫 12 恐喝 13 凶器準備集合罪

14 強姦・同致死罪 15 強制わいせつ・同致死傷

16 放火 17 公然わいせつ及びわいせつ文書頒布等

18 住居侵入 19 業務上(重)過失致死傷

20 暴行行為等取締法 21 銃砲刀剣類所持取締法

22 覚せい剤取締法 23 賭博 24 火薬取締法

25 その他 ()

F 7 入所は今度で何回目ですか。下から一つ選んでください。

1 初回 2 2回 3 3回 4 4回

5 5～9回 6 10回以上

F 8 現在、あなたの累進級は何級ですか。

1 1級 2 2級 3 3級 4 4級

F 9 前回出所してから、今回事件を起こすまでの期間はどのくらいでしたか。下から一つ選んでください。

1 該当なし 2 1月以内 3 6月以内 4 1年以内

5 2年以内 6 3年以内 7 5年以内 8 10年以内

9 11年以上

F 10 あなたの最終学歴を、下から一つ選んでください。

1 小・中学校に入学しなかった 2 義務教育未了

3 義務教育終了 4 高校中退 5 高校卒業

6 大学中退 7 大学卒業 8 各種学校

F 11 ここに入った時の職業は何でしたか。下から一つ選んでください。

1 農林漁業 2 工員 3 運転手 4 水商売・バーテン

5 露店商 6 調理 7 リース 8 金融

9 土木作業 10 会社員 11 無職

12 その他

アンケート調査票 II (成人用)

このアンケートは、施設に収容されている人たちの「更生」(こうせい)には、何が必要で、どうすればよいのかといったことについて、皆さんの意見を聞き、これからの参考にしようとするものです。

何をどのように答えても、良い・悪いということではなく、また施設内での累進・懲罰・仮釈放とも全く関係がありませんので、思ったままを自由に書いて下さい。

□の中には自分にあてはまる数字を書き、「その他」の()の部分には、自由に書いてください。カードには該当の番号に線を引いてください。

なお、()の部分についてはカードには記載欄がありません。

問1 あなたが犯罪に走るようになった原因は何だと思いますか。あなたの考えに近いものを下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 自分勝手だったから。
- 2 短気だったから。
- 3 お人好しだったから。
- 4 困ったとき、誰も助けてくれる人がいなかったから。
- 5 友人からさそわれたから。
- 6 家族とうまくいかなかったから。
- 7 職場で、うまくいかなかったから。
- 8 地域で、まわりから差別されたから。
- 9 その他()

問2 今あなたは更生しようと思っていますか。

- 1 いる
- 2 いない

問2-A

・更生しようと思っている人におたずねします。あなたが更生しようと思ったきっかけは何ですか。次のうちから一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 家族のことを考えて。 | 2 警察につかまったから。 |
| 3 刑務所の生活がいやだから。 | 4 刑務所で指導をうけたから。 |
| 5 刑務所での仲間の話を聞いて | 6 年齢を考えて。 |
| 7 入所回数を考えて。 | 8 その他() |

問2-B

・更生しようと思っていない人におたずねします。それはどうしてですか。カードには何も記載しないで下さい。

()

問3 あなたにとって、「更生する」とはどういうことだと考えていますか。あなたの考えに近いものを下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 まわりの人から信用されるようになる。
- 2 とにかく定職につき家族を養う。
- 2 多少悪いことをしても、見つかるようなことはなくなる。
- 4 落ち着いた生活ができるようになる。
- 5 暴力団等に入っていれば、それからかならずぬけるようにする。
- 6 仕事が長続きするようにする。
- 7 悪いことを絶対にしないようになる。
- 8 暴力団等に入っている、絶対にかたぎに迷惑をかけないように生活をする。
- 9 悪い遊びをやめることができるようにする。
- 10 その他 ()

問4 更生するためには何が必要ですか。下を書いてある意見のうち、あなたの考えに近いものを下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 家族の支えがどうしても必要である。
- 2 気に入った仕事につくことが大切である。
- 3 施設で教育を受けることが大切である。
- 4 地域の人との協力が必要である。
- 5 自分の気持ちさえしっかりしていれば良い。
- 6 よくわからない
- 7 その他 ()

問5 あなたがこれから更正していくためには、実際にどのようなことが必要だと考えますか。あなたの考えに近いものを下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 家族が自分を受け入れてくれる。
- 2 社会の人が自分を受け入れてくれる。
- 3 仕事を見つかりやすくなるように免許や資格を取る。
- 4 自分の悪いくせや性格の欠点を直していく。
- 5 組や仲間との付き合いから抜ける。
- 6 家族以外の社会の人(例えば保護司)が自分を援助してくれる。
- 7 気に入った仕事が見つかる。
- 8 施設で身につけた規則正しい生活態度を社会でもそのまま続ける。
- 9 その他 ()

問6 自分の更生のために、これからしたいと思っていることを、下からそれぞれ一つずつ選んでください。(カードには1つせんをひいてください。)

①刑務所の中でできれば……

- 1 資格や技術を身につけたい。
- 2 読み書きの力をもう少し上げたい。

- 3 物事を深く考え行動するようにしたい。
- 4 規則をきちんと守る習慣を身につけたい。
- 5 体をきたえたい。
- 6 人とうまく付き合うやり方を覚えたい。
- 7 その他 ()

②出所してからは、できるならば……

- 1 暴力団から脱げたい。
- 2 交遊関係を変えたい。
- 3 定職につきたい。
- 4 酒や薬（シンナー・覚せい剤）をやめたい。
- 5 家庭を持ちたい。
- 6 資格や技術を身につけたい。
- 7 その他 ()

問7 あなたは今回の事件について、被害者に弁償やおわびをされましたか。下から一つ選んでください。（カードには1つせんをひいてください。）

- 1 した。
- 2 一部した。
- 3 現在している。
- 4 出所後にする予定。
- 5 したいが、できない。
- 6 やり方がわからない。
- 7 しない。
- 8 被害者はない。
- 9 その他 ()

問8 あなたが更正するためには誰かの援助が必要でしょうか。下から一つ選んでください。（カードには1つせんをひいてください。）

- 1 絶対に必要である。
- 2 場合によっては必要である。
- 3 どちらでも良い。
- 4 必要でない。
- 5 その他 ()

問9 自分がこれから更生していくためには、誰を頼りにしたいですか。下から一つ選んでください。（カードには1つせんをひいてください。）

- 1 妻
- 2 父母
- 3 兄弟姉妹
- 4 子供
- 5 その他親族 ()
- 6 知人・友人
- 7 将来の雇い主
- 8 保護司
- 9 保護会の人
- 10 保護観察官
- 11 自分
- 12 その他 ()

問10 あなたが以前更生しようと思ったとき、どのような人の援助・指導があまり助けにならなかったと感じていますか。下から一つ選んでください。

（カードには1つせんをひいてください。）

- 1 家族
- 2 友人
- 3 教師
- 4 保護司・観察官
- 5 施設の職員
- 6 警察官
- 7 その他 ()
- 8 なし

問11 社会では、前科があることで差別されると思いますか。下から一つ選んでください。

（カードには1つせんをひいてください。）

- 1 差別されることはない。
- 2 差別されて困ることが多い。
- 3 差別されてもとくに困らない。

問12 あなたは、出所後の仕事の前定がきまっていますか。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 きまっている。
- 2 きまっていない。

「きまっている」と答えた人にだけおたずねします。

(「きまっていない」と答えた人は問13に進んでください。)

(カードには1つせんをひいてください。)

①予定している職業は何ですか。下から一つ選んでください。

- 1 農林漁業 2 工具 3 運転手 4 水商売・パート
- 5 露店商 6 調理 7 リース 8 金融
- 9 土木作業 10 会社員 11 無職
- 12 その他

②将来、その職場で、施設に入っていたことがまわりの人にわかったとしたら、あなたはどうしますか。下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 すぐやめる。 2 場合によってはやめる。
- 3 なるべくやめない。 4 絶対にやめない。

問13 更生するにあたって、刑務所の生活の中でもっとやってほしいと思うものは何ですか。下から一つ選んでください。(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 読み書きの指導
- 2 薬害(やくがい)教育
- 3 暴力団等からの離脱指導
- 4 面会・通信の回数をふやす
- 5 篤志面接委員、保護司、教かい師などの部外の人との相談
- 6 職業のための訓練
- 7 通信教育
- 8 職員による相談・助言
- 9 映画・演芸等の余暇活動
- 10 その他(

問14 あなたは、つぎにあげるAからEまでの意見について、どのように考えますか。それぞれについて、あてはまる番号を選んで○をつけてください。(カードには1つずつせんをひいてください。)

	1	2	3	4
	そう 思う。	ややそ う思う。	あまりそう 思わない。	そう思 わない
A 刑務所での規則正しい生活は、社会に出てから役立つ。	1	2	3	4
B 刑務所の作業は、更生に役立つ。	1	2	3	4
C 更生するためには、刑務所の生活は、もっときびしいほうがよい。	1	2	3	4
D 刑務所でまじめにつとめる人には、更生する人が多い。	1	2	3	4
E 刑務所でまじめにつとめることと、更正することとは違う。	1	2	3	4

問15 あなたは、この施設を出た後、次にまた刑務所に入るかどうかについてどう思っていますか。下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 よほどのことがない限り、入ってくることはない。
- 2 たぶん入ってくることはない。
- 3 また入ってくるような気がする。

問16 あなたは、「将来いつか」更生することに自信がありますか。下から一つ選んでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

- 1 絶対に自信がある。
- 2 かなり自信がある。
- 3 あまり自信がない。
- 4 まったく自信がない。

・自信がある(または自信がない)のはどうしてですか。その理由を下に書いてください。カードには何も書かないで下さい。

()

ご協力ありがとうございました。最後にもう一度、記入もれがないか確かめてください。

アンケートちょうさひょう I
(少年用)

矯正管区・中央研究所
共同研究

(この下のところはなにもかかないで下さい)

ケース番号	T 1	T 2

このちょうさは、非行にはしり、しせつに収容(しゅうよう)されている少年たちが「立ちなおる」ためには何が必要なのか、どうすればよいのかをあきらかにするためのものです。結果(けっか)はすべてコンピュータによりきかいてきにしよりされます。あなたの答えがそのまま発表されたりすることはありません。また、成績評価(せいせきひょうか)や審判(しんぱん)ともまったくかんけいありません。

ふだん思っているとおり、ありのままを答えてください。

※ 答え方: 1 それぞれの質問(しつもん)について、とくべつのしじがないときは、あてはまる答えを一つえらんで、その番号を□の中に記入し、カードの答らんにもせんをひいてください。

2 カードのせんのひき方は下のようにしてください。

よい → [—]

わるい → [×] [○] [✓] [—] [✓]

3 ()の中には、ぐたいてきなないようやりゆうなどをきにゆうしてください。カードには答の番号にせんをひくだけでいいです。

F 1 あなたの性別は、

1. 男 2. 女

F 2 あなたの年齢(ねんれい)は、

(カードのほうもわずれずにかいてください。)

1. 14, 15歳 3. 17歳 5. 19歳

2. 16歳 4. 18歳 6. 20歳以上

F 3 今回の入所(入院)は何回ですか。

1. はじめて 3. 3回目 5. 5回目以上

2. 2回目 4. 4回目

F 4 ・鑑別所にいる人にだけききます:

(カードのらんをまちがえないでください。)

鑑別所に入ってから今日でどのくらいの日数がたちましたか。

1. 7日以下 3. 15~21日

2. 8~14日 4. 22日以上

・少年院にいる人だけにききます:

(カードのらんをまちがえないでください。)

あなたは現在何級ですか。

1. 3級 4. 1級の下

2. 2級の下 5. 1級の上
3. 2級の上

F 5 今回の非行名は何ですか。

二つ以上ある人はすべての番号をきにゆうしてください。

(カードの番号にもあてはまるものすべてにせんをひいてください。)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 自動車
バイク窃盗 | 12. 強制わいせつ |
| 2. その他の窃盗 | 13. 業務上過失傷害(致死) |
| 3. 詐欺・横領 | 14. 暴力行為等取締法違反 |
| 4. 恐かつ | 15. 銃砲刀剣類所持等取締法 |
| 5. 暴行 | 16. 売春防止法 |
| 6. 傷害(致死) | 17. 道路交通法 |
| 7. 凶器準備集合罪 | 18. 覚せい剤取締法 |
| 8. 強盗 | 19. 毒物劇物取締法 |
| 9. 放火 | 20. 条例違反 |
| 10. 殺人 | 21. ぐ犯 |
| 11. 強姦(ごうかん) | 22. その他() |

F 6 共犯者(きょうはんしゃ)はいましたか。

1. いない 2. いた

F 7 あなたの学歴は、

1. 中学在学中 3. 高校在学中 5. 高校卒業以上
2. 中学卒業 4. 高校中退

(学歴は、専門学校、専修学校、職業訓練校などを除きます。)

F 8 あなたがしせつにはいる前は、

1. 学生・生徒だった
2. 仕事をしていた(正社員)
3. 仕事をしていた(アルバイト)
4. 無職(むしょく)だった
5. その他()

F 9 これまで何回仕事をかえましたか。

1. 1回もかえたことがない 4. 6回以上
2. 3回以下 5. 仕事をしたことがない
3. 4回または5回

F 10 仕事に役立つ資格・技能がありますか。

1. なし
あり(2. 運転免許 5. 電気工事
 3. 溶接 6. 建築・大工
 4. 塗装 7. その他()
8. 現在職業訓練中

F11 しせつを出てからの仕事はきまっていますか。

- 1. きまっていない
- 2. きまっている→どんな仕事 ()
- 3. 学校にかよう

F12 あなたの現在の保護者は、

- 1. 実父母 4. 実父だけ 7. なし
- 2. 実父義母 5. 実母だけ 8. その他 ()
- 3. 義父実母 6. 義父母

F13 あなたは、しせつを出たらどこへ帰る予定になっていますか。

- 1. 親のもと 6. 雇い主 (やといぬし) のもと
- 2. 妻・夫のもと 7. 保護会 (ほごかい)
- 3. 兄姉のもと 8. 未定 (きまっていない)
- 4. 親せきのもと 9. その他 ()
- 5. 知人 (ちじん) のもと

F14 あなたが帰る予定地の付近の様子は、

- 1. 住宅地 (じゅうたくち) 6. 農村 (のうそん)
- 2. 団地 (だんち) 7. 山村 (さんそん)
- 3. 商店街 (しょうてんがい) 8. 漁村 (ぎょそん)
- 4. 盛り場 (さかりば) 9. わからない
- 5. 工場地帯 (こうじょうちたい) 10. その他 ()

F15 あなたにはいれずみがありますか。

- 1. なし あり (2. いたずら程度 3. ほんかくてき)

F16 あなたはつぎのような集団に入っていますか。

- 1. 入っていない
- 入っている
- (2. ヤクザ 4. 左翼 (さよく) 6. つっぱり
- 3. 右翼 (うよく) 5. 暴走族)

F17 あなたはシンナー吸引 (きゅういん) のけいけんがありますか。

- 1. なし
- あり
- (2. 1回だけ 4. 10回以内
- 3. 5回以内 5. 11回以上)

F18 あなたは覚せい剤のけいけんがありますか。

- 1. なし
- あり
- (2. 1回だけ 4. 10回以内
- 3. 5回以内 5. 11回以上)

(カードのBをとり出してください。)

アンケートちょうさひょう II (少年用)

それぞれの質問について、あてはまる答えをえらんで、その番号を□の中にかいてください。

「その他」をえらんだら、さらに () にくわしくかいてください。

カードにはせんだけをひいてください。

問1 あなたが非行にはしるようになった原因は何だと思えますか。

下から1つえらんでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

1. 自分のせいかくにもんだいがあったから
2. 家庭や家族にもんだいがあったから
3. 学校の先生のあつかい方が悪かったから
4. 友人がのけものにしたりいじめたりしたから
5. 世の中が悪いから
6. 悪い友だちやせんばいがゆうわくしたから
7. いい仕事がなく、ぶらぶらしていたから
8. 周囲から白い目で見られたから
9. 不注意だったから
10. その他 ()

問2 今回の非行であたえたひがいについてどのように考えていますか。

下から1つえらんでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

1. 自分で働いて、与えたひがいをべんしょうしたい
2. ひがいしゃのところにあやまりに行きたい
3. すんでしまったことはいつまでも考えていても
しかたがないので考えないことにしている
4. 自分がりっぱに立ちなおることでゆるしてもらえと思う
5. ひがいしゃのほうにももんだいがあるので、思い出すとはらが立つ
6. みんなもやっているのに、自分だけがつかまり運が悪いと思う
7. 親にたのんで、ひがいをべんしょうしてもらう
8. バカなことをしたところかいしている
9. ひがいは与えていないので、特に何もしない
10. その他 ()

問3 あなたは「立ちなおる」とはどういうことだと考えていますか。

下から1つえらんでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

1. 他人にめいわくをかけないようになること
2. 社会のためになることをするようになること
3. 家族にめいわくをかけないようになること
4. まじめに働いたり, 学校に行くようになること
5. しせつに入らないようになること
6. 2度と悪いことをしないようになること
7. 人なみの生活ができるようになること
8. 小さな悪いことはしても, 大きな悪いことはしないようになること
9. その他 ()

問4 あなたは立ちなおりたいと考えていますか。

下から1つえらんでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

1. ぜひ立ちなおりたい
2. できれば立ちなおりたい
3. どうでもよい
4. 立ちなおりたいとは思わない

問4-A 1または2をえらんだ人へ～あなたが立ちなおりたいと考えるようになったきっかけは何でしたか。ぐたいてきにかいてください。

カードには何もかかないでください。

()

問4-B 3または4をえらんだ人へ～あなたがそのように考えるようになったのはなぜですか。ぐたいてきにかいてください。

カードには何もかかないでください。

()

問5 あなたには立ちなおれる自信がありますか。

下から1つえらんでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

1. 大いにある
2. かなりある
3. あまりない
4. 全くない

問5-A そう考えた理由をかいてください。

カードには何もかかないでください。

()

問6 あなたが立ちなおるにあたって, だれをたよりにしたいと考えていますか。

下から1つえらんでください。

(カードには1つせんをひいてください。)

1. 親
2. 兄弟姉妹
3. 妻・夫(ないえんも)
4. 親せきの人
10. 保護司・保護観察官(ほごし・ほごかんさつかん)
11. 保護会(ほごかい)の人
12. 鑑別所(かんべつしょ)の先生
13. 少年院(しょうねんいん)の先生

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 5. 恋人 (こいびと) | 14. 家庭裁判所 (かていさいばんしょ) のちょうさ官 |
| 6. 友人 | 15. 自分 |
| 7. 職場の人 | 16. 特になし |
| 8. 学校の先生 | 17. その他 () |
| 9. 近所の人々 | |

問7 つぎに「立ちなおり」についてのさまざまな意見がかかれています。

番号ごとの意見の中で、あなたの考えにいちばん近いものを1つずつえらんでください。

(カードには1つずつせんをひいてください。)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1) 1. 立ちなおれるかどうかは、運である。 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 立ちなおれるかどうかは、どちらかといえば家族や友人関係などまわりのじょうきょうしだいである。 | |
| 3. 立ちなおれるかどうかは、どちらかといえば本人の気もちや努力しだいである。 | |
| 2) 1. 遅いか早いかはともかく、ほとんどの人は必ず立ちなおれる | <input type="checkbox"/> |
| 2. 多くの人は立ちなおるが、そうでない人もいる | |
| 3. 立ちなおる人とそうでない人は、半々くらいである | |
| 4. 少しの人は立ちなおれるが、多くは立ちなおれない | |
| 5. ほとんどの人は立ちなおれない | |
| 3) 1. しせつでまじめに生活している人は、立ちなおれる人が多い | <input type="checkbox"/> |
| 2. しせつでまじめに生活することと立ちなおるかどうかとはあまりかんけいがない | |
| 3. しせつでまじめに生活している人ほど、うわべだけの生活なので立ちなおれない。 | |
| 4) 1. 立ちなおるためには、できるだけ早いうちに指導を受ける方がよい | <input type="checkbox"/> |
| 2. 非行少年はてきとうな年になれば、自然に立ちなおることがあるので、できるだけ放っておく方がよい | |
| 3. 人によってちがうので、早くしどうすべきか、ほうっておくべきかどちらがよいともいえない | |

SQ 2をえらんだ人だけ～カードには何もかかないでください。

「てきとうな年」とは何さいくらいですか。() さい

(カードには1つせんをひいてください。)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 5) 1. 非行少年を立ちなおらせるために、少年院や鑑別所はぜひ必要である | <input type="checkbox"/> |
| 2. 少年院や鑑別所のおかげで中には立ちなおる人も思う | |
| 3. 少年院や鑑別所は、立ちなおりにはあまり役だたない | |
| 4. 少年院や鑑別所は、立ちなおるためにかえってマイナスになることもある | |

SQ 3または4をえらんだ人だけ～カードには何もかかないでください。

その理由をぐたいてきにかいてください。

()

(カードには1つせんをひいてください。)

- 6) 1. 非行少年を立ちなおらせるために、国や社会はもっと金をかけるべきである
- 2. 悪いことをした人のために金をかけるなんてばかげている
- 3. 今の程度でよいと思う

- 7) 1. けっこんをきっかけにして立ちなおる人が多い
- 2. けっこんと立ちなおりとはあまり関係はない
- 3. すでにけっこんしている

- 8) 1. しせつでのきそく正しい生活は、しせつを出てからも役立つ
- 2. しせつでのきそく正しい生活は、しせつを出ればあまり関係ない
- 3. しせつでのきそく正しい生活は、げんじつの生活とはかけはなれているので、かえってマイナスになる

問8 つぎに「立ちなおり」に役立つようなことがかかれています。それぞれについて、あなたが立ちなおるときにとっても役立つと思えば「とても役立つ」に、やや役立つと思えば「やや役立つ」に、あまり役立つと思えば「あまり役立つ」に、まったく役立つと思えば「まったく役立つ」に、どちらともいえない、わからないというときは「どちらでもない」に、せんをひいてください。
 カードBのそれぞれのしつものところにもせんをひいてください。

	とても 役立つ	やや役 立つ	どちら でもな い	あまり 役立つ ない	まった く役立つ たない
1. 家族が金持ちであること	[]	[]	[]	[]	[]
2. たくさんの給料をくれる仕事につくこと	[]	[]	[]	[]	[]
3. 差別したりせず、あたたかく受け入れてくれる友人が いること	[]	[]	[]	[]	[]
4. 近所の人々が自分をあたたかく受け入れてくれること	[]	[]	[]	[]	[]
5. 学校の先生がさべつしないこと	[]	[]	[]	[]	[]
6. しせつの先生がきびしく指導してくれること	[]	[]	[]	[]	[]
7. 仕事に役立つしかくやぎのうがあること	[]	[]	[]	[]	[]
8. 何でも話し合える家族がいること	[]	[]	[]	[]	[]
9. 職場にやさしく親切な人がいること	[]	[]	[]	[]	[]
10. 何でも相談ののってくれる友人がいること	[]	[]	[]	[]	[]
11. 勉強をわかりやすく教えてくれる先生が学校にいること	[]	[]	[]	[]	[]
12. しせつの先生が話をきいてくれたり、じょげんをして くれること	[]	[]	[]	[]	[]
13. 高校卒業のがくれきがあること	[]	[]	[]	[]	[]
14. 自分のことを信じてくれる家族がいること	[]	[]	[]	[]	[]
15. 自分にあった仕事につくこと	[]	[]	[]	[]	[]
16. 仕事を紹介してくれる友人がいること	[]	[]	[]	[]	[]

17. 悪いことをしようとしたとき、注意してくれる人が近 [] [] [] [] []
所にいること
18. 生徒をしんらいし、生徒の言うことをちゃんときいて [] [] [] [] []
くれる先生が学校にいること
19. とくし面接いいん、教かいしなどぶがいの先生が話を [] [] [] [] []
きいてくれたり、つながりをもってくれること
20. 人一ばいの体力があること [] [] [] [] []
21. いろいろなことを教えてくれる家族がいること [] [] [] [] []
22. はたらく時間が短いことや休日が多いこと [] [] [] [] []
23. 金に困ったときに、助けてくれる友人がいること [] [] [] [] []
24. 近所の人が自分たちのことをそっとしておいてくれること [] [] [] [] []
25. きびしくしどろしてくれる先生が学校にいること [] [] [] [] []
26. しせつで職業くんれんやしかくがとれるしどろをして [] [] [] [] []
くれること
27. がまん強さがあること [] [] [] [] []
28. やさしい親がいること [] [] [] [] []
29. 職場の人がさべつしないこと [] [] [] [] []
30. 悪いことをしそうになったときに、注意してくれる友 [] [] [] [] []
人があること
31. 仕事のせわなどをしてくれる人が近所にいること [] [] [] [] []
32. やさしい先生が学校にいること [] [] [] [] []
33. しせつでじっくり反省ができること [] [] [] [] []
34. れいせいにものごとを考える力があること [] [] [] [] []
35. きびしく指導してくれる親がいること [] [] [] [] []
36. 将来のびる仕事につけること [] [] [] [] []
37. 自分を信用してくれる友人がいること [] [] [] [] []
38. 金に困っているときは助けてくれる人が近所にいること [] [] [] [] []
39. 勉強のおくれをとりもどすために、学校の先生がとく [] [] [] [] []
べつにしどろってくれること
40. 働くことのたいせつさやたのしさをしせつの先生が教 [] [] [] [] []
えてくれること
41. わりとあたまがいいこと [] [] [] [] []
42. 自分がかえるのを待っている家族がいること [] [] [] [] []
43. すぐにつぶれたりしない仕事につくこと [] [] [] [] []
44. いっしょになって喜んだり悲しんだりしてくれる友人 [] [] [] [] []
がいること
45. いろいろ相談にのってくれる人が近所にいると [] [] [] [] []
46. 学校でクラスの人があたたかく受け入れてくれること [] [] [] [] []
47. しせつの先生が読みかきや計算の勉強を教えてくれること [] [] [] [] []
48. 人づきあいをうまくできる力があること [] [] [] [] []

- | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 49. 家族が仲よく、まとまりがよいこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 50. 気のあう仲間がいる職場であること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 51. 家出したときに、とめてくれる友人がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 52. 話のわかるねっしんな保護司がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 53. 生徒のなやみをかいけつしてくれる先生が学校にいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 54. しせつでけんこうをかいふくさせたり、体力のこうじょうをさせてくれること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 55. 強いいしをもっていること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 56. 両親がそろっている家庭であること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 57. とにかくどんな仕事でもよいから仕事につくこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 58. いじめられそうなときに、助けてくれる友人がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 59. けんぜんなごらくしせつやスポーツしせつが近所にあること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 60. 勉強いがいの面でも学校の先生にひょうかしてもらえること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 61. いったんしせつに入り、かこのでたらめな生活とえんがきれること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 62. 明るいせいかくをもっていること | [] | [] | [] | [] | [] |

(カードのCをとり出してください。)

SQ さて、今までの1～62のぜんぶを見なおしてください。その中で、自分が立ちなおるためにもっとも役立つと思う番号を1つえらんでください。

(カードの「問8SQ」とかいてあるらんをつかってください。

たとえば、12番だと思う人は上のらんの〔1〕と下のらんの〔2〕にせんをひいてください。3番だと思う人は上のらんはなにかかず、下のらんの〔3〕だけにせんをひいてください。)

問9 つぎに「立ちなおり」にじゃまになりそうなこと、立ちなおるいよくをなくさせるようなことがかかれています。それぞれについて、あなたが立ちなおるときにとてもじゃまになると思えば「とてもじゃま」に、ややじゃまになると思えば「ややじゃま」に、あまりじゃまにならないと思えば「あまりじゃまでない」に、まったくじゃまにならないと思えば「まったくじゃまでない」に、どちらともいえない、わからないというときは「どちらでもない」に、せんをひいてください。

カードCのそれぞれのしつものところにもせんをひいてください。

	とても じゃま	やや じゃま	どちら でもな い	あまり じゃま でない	まった くじゃ までな い
1. くどくど注意する家族がいること	[]	[]	[]	[]	[]
2. 職場の人につめたい目でみられたり、しせつに入った ことをとやかく言われること	[]	[]	[]	[]	[]
3. 遊びにさそう友人が多いこと	[]	[]	[]	[]	[]
4. 近所にさかり場や遊び場があること	[]	[]	[]	[]	[]
5. 学校の先生にさべつされること	[]	[]	[]	[]	[]
6. しせつの先生が自分を正しくひょうかしてくれないこ と	[]	[]	[]	[]	[]
7. 仕事に役立つしかくやぎのうがないこと	[]	[]	[]	[]	[]
8. 家族どうしがけんかをしたり、まとまりが悪いこと	[]	[]	[]	[]	[]
9. 職場のなかまより給料（きゅうりょう）がやすいこと	[]	[]	[]	[]	[]
10. いじめる人がいること	[]	[]	[]	[]	[]
11. 近所に遊びなかまのたまり場があること	[]	[]	[]	[]	[]
12. 学校でクラスの人からじゃまものにされること	[]	[]	[]	[]	[]
13. しせつの先生がきずつけるようなことを言うこと	[]	[]	[]	[]	[]
14. がくれきがないこと	[]	[]	[]	[]	[]
15. 家庭がまずしいこと	[]	[]	[]	[]	[]
16. 職場に気のあわない人がいること	[]	[]	[]	[]	[]
17. 非行にさそう友人がいること	[]	[]	[]	[]	[]
18. 近所の人々がつめたい目で見たり、自分たちのことを かげでこそこそ言うこと	[]	[]	[]	[]	[]
19. 勉強についていけないこと	[]	[]	[]	[]	[]
20. しせつ生活が長くなって、社会生活から遠ざかること	[]	[]	[]	[]	[]
21. 体が弱いこと（病弱であること）	[]	[]	[]	[]	[]
22. 家族間で会話（かいわ）がないこと	[]	[]	[]	[]	[]
23. 職場の人からなかまはずれにされること	[]	[]	[]	[]	[]
24. むりにお金をまきあげる友人がいること	[]	[]	[]	[]	[]
25. 近所の人々が自分たちをじゃまものにするこ と	[]	[]	[]	[]	[]
26. 学校で先生からむしされること	[]	[]	[]	[]	[]
27. しせつの中で他のなかまから悪いことを教えられるこ と	[]	[]	[]	[]	[]
28. いしが弱いこと	[]	[]	[]	[]	[]
29. 親がきびしすぎるこ と	[]	[]	[]	[]	[]
30. 職場の人から悪いことにさそわれること	[]	[]	[]	[]	[]
31. ヤクザや暴走族からのさそいがあること	[]	[]	[]	[]	[]
32. 近所に非行少年がたくさんいること	[]	[]	[]	[]	[]

- | | | | | | |
|-------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 33. 学校で先生からたいばつをくわえられること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 34. しせつで自分のきぼうする作業やくんれんが受けられないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 35. すぐあたまにきやすいこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 36. 酒ぐせの悪い家族がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 37. つらい仕事ばかりさせられること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 38. ヤクザや暴走族からのりだつをみとめてくれないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 39. 近所で非行があると、すぐにうたがう人がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 40. ツッパリや不良のなかま、せんばいがさそいにくること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 41. しせつでまじめにやろうとすると他のなかまがじゃますること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 42. あたまが悪いこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 43. 親がうわきをしていること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 44. 職場で自分ばかりがきびしく注意されたりすること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 45. 友人からなかまはずれにされること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 46. 近所に働かず遊んでいる人がたくさんいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 47. ツッパリのこうはいが自分をたよってくること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 48. しせつの先生がしんらいしてくれないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 49. 人づきあいがへたなこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 50. 家族が自分を信用(しんよう)してくれないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 51. 自分にあった仕事が見つからないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 52. しせつなかまがたずねてくること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 53. ちょっとしたことでもけいさつによび出されること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 54. 学校でかこの非行やしせつにいたことにふれられること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 55. しせつにきびしすぎる先生がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 56. いれずみがあること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 57. 自分をまっている家族がないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 58. がくれきやしかくがないため、自分をやとってくれる職場がないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 59. そうだんし、たよれるよい友人がないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 60. 保護司がそうだんにのってくれないこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 61. 学校にきびしすぎる先生がいること | [] | [] | [] | [] | [] |
| 62. しせつでしかつうようしないことばやこうどうをおぼえてしまうこと | [] | [] | [] | [] | [] |
| 63. からだにしょうがいがあること | [] | [] | [] | [] | [] |

SQ さて、今までの1～63のぜんぶを見なおしてください。その中で、自分が立ちなおるためにもっともじゃまになると思う番号を1つえらんでください。

(カードの「問9SQ」とかいてあるらんをつかってください。

たとえば、12番だと思ふ人は上のらんの〔1〕と下のらんの〔2〕にせんをひいてください。

3番だと思ふ人は上のらんにはなにかかず、下のらんの〔3〕だけにせんをひいてください。)

問10 あなたが立ちなおるためには、自分じしんをどうあらためる必要があると思いますか。

カードCのところにもせんをひいてください。

1. 人の立場になって考えられるようになること
2. ものごとをふかく考えられるようになること
3. 人づきあいをうまくできるようになること
4. 学力をみにつけること
5. いしを強くすること
6. 病気をなおしたり、体力をつけること
7. がまん強く働くしゅうかんをみにつけること
8. じりつして生活できる力をみにつけること
9. 自分の気もちやわがままをおさえられるようになること
10. その他 ()

「立ちなおり」についての意見やきぼう、このアンケートちょうさにたいするかんそうなどがありましたら、どんなことでもかまいませんから、自由にかいてみてください。

ご協力ありがとうございました。

さいごに、きにゅうもれがないか、もう一どたしかめてください。